

(別添様式3)

研究機関名：熊本大学

競争的研究費の直接経費からの研究代表者(PI)の人件費支出に係る
活用実績報告書（令和4年度）

1. 実施状況

①事業名	②直接経費から人件費を支出した、所属PIの人数（人）	③所属するPIについて、直接経費から支出した人件費の総額（円）	④所属するPIについて、直接経費から人件費を支出したことにより確保した財源の総額（円）
エイズ対策実用化研究事業	2	756,925	756,925
医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業	1	1,856,419	1,856,419
革新的先端研究開発支援事業ソロタイプ	2	2,172,000	2,172,000
肝炎等克服実用化研究事業	2	3,371,828	3,371,828
橋渡し研究プログラム	1	1,114,000	1,114,000
再生医療実現拠点ネットワークプログラム疾患特異的iPS細胞の利活用促進・難病研究加速プログラム	1	3,652,500	3,652,500
再生医療実用化研究事業	1	3,652,500	3,652,500
次世代がん医療加速化研究事業	1	720,000	720,000
新興・再興感染症研究基盤創生事業	1	603,336	603,336
創薬基盤推進研究事業	1	1,336,497	1,336,497
難治性疾患実用化研究事業	2	2,469,394	2,469,394
脳とこころの研究推進プログラム領域横断的かつ萌芽的脳研究プロジェクト	1	1,200,000	1,200,000
合計	16	22,905,399	22,905,399

2. 確保した財源の使途、具体的な活用内容、効果等

研究者に対して、直接経費から人件費として支出した額を、契約の確定時期に従い、半期毎のタイミングで、競争的研究費等獲得手当として支給した。

本手当の支給は、研究者自身の処遇改善へつながり、研究に対するモチベーション向上に寄与した。

※ 他の経費と一体的に活用することも可能です。その場合はどのような経費と併せて何の取組に活用したか分かるように記載してください。

※ 必要に応じて参考資料を添付してください。

3. 策定した活用方針や活用実績を公表している研究機関のホームページ等の URL を記載してください。なお、各研究機関における研究力向上に向けた実施事例については、好事例として政府のホームページでも公表させていただく場合があります。

https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei